

問一

- (a) 至便 (b) 痛感 (c) 体得 (d) 権化 (e) 不断

問二

患者が治癒後に重症化して再入院したり想定外の長期入院をした
りする現実と直面し、精神科医としての自分の能力ばかりか精神
医学の意義について疑念や不安を抱いたこと。(七九字)

問三

対象の本質に迫り共感する必要があるから。(二〇字)

問四

ネガティブ・ケイパビリティの考えが、不安に苛まれていた著者
に啓示的な衝撃を与え、論文の筆者が誰かを問わず、医業を超え
て人生の難局に際し大きな支えとなったから。(七九字)

問五

社会や教育の現状が人間の脳に本来備わっている物事を効率よく
処理しようとする能力の発揮を要請するため、不確かさに耐えて
対象の本質に迫るというネガティブ・ケイパビリティの能力を養
い実践することには困難さがつきまとうが、そうした性急で皮相
な理解の未熟さや誤りを回避して、人生の難局に対処して多様な
可能性へと自らを開いていくためには、その能力が必要となるか
ら。(一七六字)

問一

- (a) 駆逐 (b) 喚起 (c) 擁護 (d) 没頭 (e) 曖昧

問二

直接民主制と代表制は民意の実現を目指す点で一致するが、前者
が有権者の意志に重点を置くのに対し、後者が有権者の意志を相
対化した代表の判断を重視する点で異なる。(七八字)

問三

直接制は、有権者の意志をそのまま反映できるものの対立に陥る
恐れがあり、代表制は、総合的な視点をもつ有権者の代表による
議論を通してその混乱を回避し直接制を活性化させるように、両
者は相互補完的であるから。(二〇〇字)

問四

民意をそのまま反映せず、有権者の代表たる政治家個人の判断が
重視されるという代表制の非民主的性質は、政治家が曖昧で不定
型な民意を相対化しつつ議論を重ねて政策体系に昇華させること
で時々の民意の実現に資するとともに、その政策と民意との間に
生じた齟齬を解消すべく民主的な議論を喚起し、市民の活発な政
治参加を促すことで、民主主義を活性化させる契機ともなりうる
こと。(一七七字)

問一

- (a) なんとなく憂鬱で。
- (b) とりとめもない話。
- (c) 気に入らないので。
- (d) 始終。

問五

水鳥が浮いたまま寝ていた水の上、つまり、中宮さまの前であなたと
いっしょに仮寝したことがかりが恋しくて、里で一人寝る冷たさは、
鴨の上毛に霜が置く冷たさにも劣らない。

問二

自分の将来に対する心細さは晴らしようもなく、世に生きていくべき
人並の存在だとは思わないという心情。(四九字)

問三

出仕する以前は、「はかなき物語」を通して、いろいろな人と交際し、
とりとめもない話に所在なさを慰められて、恥ずかしいことやつら
い方面のことから逃れられていたが、出仕してからはそれもできな
くなったから。(九九字)

問四

- (ア) しみじみと心を通わせていた人で親しく話しあった方も、出仕した
私をどんなにかあつかましく浅はかな者と軽蔑しているだろう。
- (イ) 奥ゆかしいだろうと思っている人は、女房というものはいいかげん
で人からもらった手紙を他人に見せびらかすだろうかなど、つい疑
うにちがいないようだから。